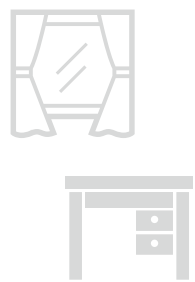


JISに準拠した大形チャンバー試験を開始しました!

《 JIS A 1911「建築材料などからのホルムアルデヒド放散測定方法—大形チャンバー法」
 JIS A 1912「建築材料などからの揮発性有機化合物(VOC), 及びホルムアルデヒドを除く
 他のカルボニル化合物放散測定方法—大形チャンバー法」 》

JIS A 1911及びJIS A 1912に準拠した大形チャンバー試験として、建材や家具等の部材から放散するホルムアルデヒドや揮発性有機化合物(VOC)の評価が実施可能となりました。近年、建材、家具等から発生する化学物質が原因で生じる健康被害として、「シックハウス症候群」「化学物質過敏症」などが大きな社会問題となっており、ホルムアルデヒドや揮発性有機化合物(VOC)は厚生労働省によって指針値が策定されています。本試験設備を新たに導入したことで、高い精度の温湿度、換気管理をもって厚生労働省の室内濃度指針値と比較することができるようになりました。皆さまからのご依頼お待ちしております!



是非、製品開発、
製品管理に
ご活用ください!



POINT
2

ホルムアルデヒドの放散速度から、製品がF☆☆☆☆※2相当か確認できます!
 ※2...ホルムアルデヒドの放散速度のランク分けには(F☆☆☆☆、F☆☆☆、F☆☆)があり、F☆☆☆☆(オース)は放散速度が最も少ない。ランクのご確認には、製品の表面積情報が必要となります。

POINT
3

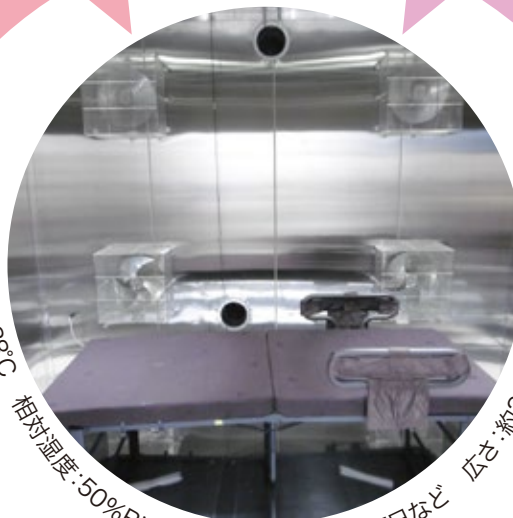
ホルムアルデヒドだけではなく、VOC(トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等)の放散速度も得られます!

POINT
1

小形チャンバーと同じ様に放散速度※1が得られます!
 ※1...単位: $\mu\text{g}/(\text{m}^3 \cdot \text{h})$ 又は $\mu\text{g}/(\text{unit} \cdot \text{h})$

POINT
4

室内濃度は、厚生労働省室内濃度指針値と比較することができます!



温度: 28°C

相対湿度: 50%RH

放散時間: 1日、3日、7日など

広さ: 約24m² (6畳相当)



上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

大阪事業所
化学分析センター
(担当: 大宅、松田、松永)

所在地
〒552-0021 大阪市港区築港1丁目6番24号
TEL:06-6577-0031 / FAX:06-6577-0033